

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	Illustrator 演習基礎	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期：53時間 / 後期： 時間	実務経験： 岡山のメーカーで約7年間、インハウスデザイナーとしてグラフィックデザインや商品開発、ブランディングに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザイン・印刷などのDTP業界において、「事実上の標準」となっている画像編集ソフト Adobe Illustrator の描画作成、グラデーションのコントロール、高度なグラフィックスタイルの作成など、多くの機能を効果的に実務に活かすことのできる能力を測定するために、スタンダード取得を目指します。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	サーティファイ主催 Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	検定取得をベースに、ソフトの知識と技術を身につけ、デザインに応用することで、実務に生かす。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	初歩的な操作をテキストを使用して解説。 検定を通して、ツールの使用方法や図形の作成方法を学習する。		
到 達 目 標	「Illustratorクリエイター能力認定スタンダード」 全員合格を目指す。		
成 績 評 価 方 法	・ 期末試験 (45%)、本試験 (40%) 確認テスト (5%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	・ Illustrator クリエイター能力認定試験 問題集		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	Illustrator 演習応用	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期： 時間 / 後期：20 時間	実務経験： 岡山のメーカーで約7年間、インハウスデザイナーとしてグラフィックデザインや商品開発、ブランディングに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザイン・印刷などの DTP 業界において、「事実上の標準」となっている画像編集ソフト Adobe Illustrator の描画作成、グラデーションのコントロール、高度なグラフィックスタイルの作成など、多くの機能を効果的に実務に活かすことのできる能力を測定するために、エキスパート取得を目指します。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	サーティファイ主催 Illustrator クリエイター能力認定試験 エキスパート		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	検定取得をベースに、ソフトの知識と技術を身につけ、デザインに応用することで、実務に生かす。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		高度な検定の学習を通して、グソフトの深い部分まで習熟し、デザインを作成する能力を高める。	
到 達 目 標		「Illustrator クリエイター能力認定エキスパート」受験合格を目標。	
成 績 評 価 方 法		・ 期末試験 (45%)、本試験 (40%) 確認テスト (5%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		・ Illustrator クリエイター能力認定試験 問題集	

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	Photoshop 演習基礎	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期：54時間 / 後期： 時間	実務経験： 岡山のメーカーで約7年間、インハウスデザイナーとしてグラフィックデザインや商品開発、ブランディングに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザイン・印刷などのDTP業界において、「事実上の標準」となっている画像編集ソフト Adobe Photoshop の画像の加工、調整、多くの機能を効果的に実務に活かすことのできる能力を測定するために、スタンダード取得を目指します。		
目指す検定・資格	サーティファイ主催 Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダード		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	検定取得をベースに、ソフトの知識と技術を身につけ、デザインに応用することで、実務に生かす。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	初歩的な操作をテキストを使用して解説。 検定を通して、ツールの使用方法や図形の作成方法を学習する。		
到 達 目 標	「Photoshop クリエイター能力認定スタンダード」 全員合格を目指す。		
成 績 評 価 方 法	・ 期末試験 (45%)、本試験 (40%) 確認テスト (5%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	・ Photoshop クリエイター能力認定試験 問題集		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	Photoshop 演習応用	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期： 時間 / 後期：36 時間	実務経験： 岡山のメーカーで約7年間、インハウスデザイナーとしてグラフィックデザインや商品開発、ブランディングに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザイン・印刷などの DTP 業界において、「事実上の標準」となっている画像編集ソフト Adobe Photoshop の画像の加工、調整、多くの機能を効果的に実務に活かすことのできる能力を測定するために、エキスパート取得を目指します。		
目指す検定・資格	サーティファイ主催 Illustrator クリエイター能力認定試験 エキスパート		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	検定取得をベースに、ソフトの知識と技術を身につけ、デザインに応用することで、実務に生かす。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		高度な検定の学習を通して、グソフトの深い部分まで習熟し、デザインを作成する能力を高める。	
到 達 目 標		「Photoshop クリエイター能力認定エキスパート」受験合格を目標。	
成 績 評 価 方 法		・ 期末試験 (45%)、本試験 (40%) 確認テスト (5%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。	
テキスト・副読本		・ Photoshop クリエイター能力認定試験 問題集	

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	色彩概論	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤原 智子
時 間 数	前期：45 時間 / 後期： 時間	実務経験： グラフィックデザイナー、アートディレクターとして現場で約 20 数年間、数多くの案件に従事。 キャリアコンサルタント資格を有する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザイン制作に不可欠な「色彩学」の理論についての知識を理解することにより、必要に応じて色を使いこなせるようにする。色を実践的に捉え、応用できるノウハウを習得する。実習を用いることにより楽しく分かりやすく学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	文部科学省後援 色彩検定 3 級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	色彩学を学ぶことで理論的な知識を理解してもらいたい。 基礎を理解したうえで視覚表現に応用し、オリジナリティを発揮することでより洗練されたデザインを創り出してほしい。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	色彩学の基礎知識の習得		
到 達 目 標	色彩検定 3 級全員合格を目指す。		
成 績 評 価 方 法	本試験 (25%)、検定試験結果 (25%)、確認テスト (20%)、提出物 (20%)、出欠席 (5%)、授業態度 (5%) で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	色彩検定 3 級テキスト 配色カラーカード		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	Web マーケティング実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤原 智子
時 間 数	前期： 時間 / 後期：48時間	実務経験： グラフィックデザイナー、アートディレクターとして現場で約 20 数年間、数多くの案件に従事。 キャリアコンサルタント資格を有する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	インターネットマーケティングに関する様々な知識を身につけ、情報を整理し、自分たちの制作物と組み合わせることで「クライアントに集客結果を提供すること」を目標とします。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	まずはマーケティング用語や基礎理論について理解。 具体的な実例演習をグループで行うなどをマーケティングに関する知識から戦略を立て、Web ブランディング能力とデザイン能力の向上を図る。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		市場調査（マーケットリサーチ）から Web サイトや広告制作を行い、根拠や戦略のあるデザイン・プログラミングを行う。	
到 達 目 標		Web デザイナーや Web プログラマーとして、クライアントの要望から最終ゴールをイメージし、そのゴールに向けて戦略を立て、根拠を持って説明できるスキルを身につける。	
成 績 評 価 方 法		期末試験（70%）、確認テスト（20%）出欠席（5%）授業態度（5%）で評価をつける。	
テキスト・副読本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1年
科 目 名	カメラ実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信
時 間 数	前期：45 時間 / 後期： 時間	実務経験： 平成元年より 3DCG 制作業務に従事。独立後に 在阪 TV 局での番組映像制作の傍ら専門学校や 大学にてマルチメディア系講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Web デザインやグラフィックデザインなどに応用し、ビジュアルのクオリティをアップさせる要素として重要な写真撮影技術の基本的な機能や技術を修得する。写真撮影から動画撮影へ領域を広げ、カメラによる総合的な表現手法習得をおこなう。		
目指す検定・資格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	全くの初心者から経験者まで、レベルに応じた個別指導を行う。 表現手法の一つとして写真・動画を理解する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> 一眼レフカメラの構造と働きの理解 基本的な写真技術と表現方法の習得 課題作品制作実習による知識の定着 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> カメラの仕組みを理解している 演出意図に合わせたカメラ操作ができる デジタル画像を扱う基礎知識を習得 適切な編集・加工ができる 		
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 知識試験 (30%)、撮影操作技術 (10%)、 作品審査 (50%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。 		
テキスト・副読本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	マルチメディアリテラシー	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置勝信
時 間 数	前期：30 時間 / 後期： 時間	実務経験： 平成元年より 3DCG 制作業務に従事。独立後に 在阪 TV 局での番組映像制作の傍ら専門学校や 大学にてマルチメディア系講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	メディアデザインを行うために必要な基礎知識の習得。 コンピュータや周辺機器、インターネット、デジタルコンテンツ、携帯端末、知的財産権、マルチメディアの社会応用などに関する幅広い知識の習得。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	マルチメディア検定		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを中心に進行。コンピュータやネットワークシステム、デジタル画像やコンテンツデザインの基礎知識を習得することにより、魅力的な表現や、的確な情報の受発信を目指す。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	メディアデザインを行うために必要な基礎知識、コンピュータや周辺機器、インターネット、デジタルコンテンツ、携帯端末、知的財産権、マルチメディアの社会応用などに関する幅広い知識の習得。		
到 達 目 標	マルチメディア検定の取得。		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (90%)、出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価する		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	入門マルチメディア		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	HTML・CSS 演習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	三浦佐代子
時 間 数	前期：52 時間 / 後期：52 時間	実務経験： システム会社経て独立。多くの web サイトを制作した経験を活かし、学生が業務レベルの制作を行うことができるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	web 制作の基本を学ぶ。HTML を使用しての構造的なコーディング、各 CSS の意味を理解し習得する。また、web クリエイター能力認定試験に合格を目指す。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	web クリエイター能力認定試験スタンダード		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを使用しながらも、最新の動向を取り入れ、指導を進める。知識の習得を進めるにつれ、web サイトを自分で作ってみたいという意欲、問題があれば自主的に調べ、質問するなどして解決していく力を身につけることを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	web サイトとは web サイトの構造 テキストのサイトの制作を通じて HTML と CSS を身につける web クリエイター能力認定試験対策		
到 達 目 標	web サイトの仕組みを知る web サイトに興味を持って勉強 web クリエイター能力認定試験合格		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (90%)、出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価する		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	いちばんやさしい HTML5&CSS3 の教本		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	HTML・CSS 演習 II	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	長野 紘貴
時 間 数	前期： 時間 / 後期：60 時間	実務経験： 個人事業主として5年間、ホームページ制作に関わる、コーディングや Web デザインなどの業務に従事した経験を活かし、HTML や CSS の基礎知識、CMS の管理・運用を活かせるように実習する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	web 制作の基本を学ぶ。HTML を使用しての構造的なコーディング、各 CSS の意味を理解し習得する。また、web クリエイター能力認定試験に合格を目指す。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	web クリエイター能力認定試験エキスパート		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを使用しながらも、最新の動向を取り入れ、指導を進める。知識の習得を進めるにつれ、web サイトを自分で作ってみたいという意欲、問題があれば自主的に調べ、質問するなどして解決していく力を身につけることを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		web サイトとは web サイトの構造 テキストのサイトの制作を通じて HTML と CSS を身につける web クリエイター能力認定試験対策	
到 達 目 標		web サイトの仕組みを知る web サイトに興味を持って勉強 web クリエイター能力認定試験合格	
成 績 評 価 方 法		期末試験 (90%)、出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価する	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		いちばんやさしい HTML5&CSS3 の教本	

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	Web アクセシビリティ I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	澤田 望
時 間 数	前期： 時間 / 後期：28 時間	実務経験：岡山のデザイン事務所「SAWADA STANDARD」主宰。Web デザイナー、グラフィックデザイナーとして多くの案件を経てきた経験を伝え、Web デザイン世界のバリアフリーを説く。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Web サイトの利用者（障害者を含む）／閲覧環境の多様性を理解し、より多くの利用者がアクセスできるサイトを制作するために必要な設計／実装／ビジュアルデザインの手法を修得します。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	Web サイトで情報公開する意味を考え、なぜアクセシビリティが必要なのかを実感できる体験型のワークショップを多く実施します。 JIS X 8341-3:2016 レベル AA を達成できる程度の制作知識を身に付けられます。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		アクセシビリティとは 様々な利用者特性／閲覧環境の体験 ナビゲーション設計 インタラクション設計 コンテンツ設計	
到 達 目 標		基本的なアクセシビリティに対する理解 アクセシブルな設計に必要な知識の修得 テキスト Chapter1、4、5、7	
成 績 評 価 方 法		期末テスト（90%）、授業態度（5%）、出欠席（5%）で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		デザイン Web アクセシビリティ （太田良典、伊原力也著）	

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	Web デザイン実習基礎	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤原 智子
時 間 数	前期：32時間 / 後期：30時間	実務経験： グラフィックデザイナー、アートディレクターとして現場で約 20 数年間、数多くの案件に従事。 キャリアコンサルタント資格を有する。	
科目の目的と 講義内容	Adobe Illustrator、Photoshop、XD を使用した Web サイトに関するデザイン制作。		
目指す検定・資格			
指導方法及び 学生に期待すること	作品制作を通じて、デザインの基礎やコンセプトについて学び、制作物について説明できるスキルを身につける。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	デザインの基礎やレイアウトテクニックなど Web に関する基礎を身につけ、作品制作を通じてアウトプットする。	DTP の基礎知識、プレゼンテーションの資料作成のポイントの指導。そこから、プレゼンテーションのブラッシュアップを実施。	
到 達 目 標	まずはコンセプトからデザインにできるスキルを身につけ、他人に制作物を説明できることを最終目標とする。	Web の分野だけでなく、DTP の分野からもメディアミックスの観点から提案を行える、プレゼンテーションスキルの向上が最終目標。	
成 績 評 価 方 法	制作物 (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%) で評価をつける。	制作物(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)で評価をつける。	
テキスト・副読本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	動画制作実習基礎	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信
時 間 数	前期： 時間 / 後期 41 時間	実務経験： 平成元年より 3DCG 制作業務に従事。独立後に在阪 TV 局での番組映像制作の傍ら専門学校や大学にてマルチメディア系講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	現代のデザイン手法に欠かせない「動画・映像」の効果や仕組みについて学び、動画の制作実習を通して自身の表現手段を増やす。(文字、イラスト、写真 + 実写動画、3DCG 動画) 作品制作後にはプレゼンテーションを伴った合評会を行い、他者作品からの刺激を受け、自身の作品の制作力向上を実感する。		
目指す検定・資格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	動画の特徴を理解し、案件に合わせた表現手法選択ができるようになること。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画コンテンツの特徴と効能の理解 ・ 基本的な編集技術の習得 ・ 企画構成、演出の理解 	
到 達 目 標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画コンテンツの特徴を理解している ・ カットをつないでシーンを構成できる ・ 適切な編集ができる ・ 企画を映像化できる 	
成 績 評 価 方 法		<ul style="list-style-type: none"> ・ 編集技術 (20%)、演出理解 (20%)、作品審査 (50%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価をつける。 	
テキスト・副読本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	HTML 制作演習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤原 智子
時 間 数	前期： 時間 / 後期：28 時間	実務経験：	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	HTML を使用しての構造的なコーディング、CSS での装飾だけでなく、動的な Web サイト制作の実装を目的とする。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	web クリエイター能力認定試験		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	簡単で実践的な要素の習得から入り、Web サイト制作で活用したいと思える様に指導を行う。また、テンプレートなどを写すだけでなく、さらに興味を持って新しいスクリプトにも挑戦することを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		HTML、CSS、jQuery それぞれがバランスをとり、Web サイトとして使いやすいものを目指す。比較的使用頻度が高く、ハードルの低い易しいものから、実践的に取り入れていき、徐々にクオリティを上げていく。	
到 達 目 標		HTML、CSS、jQuery が単体ではなく、しっかりバランスを考慮しながら、自分の制作するサイトに落としこむことができるようになる。	
成 績 評 価 方 法		作品審査 (90%)、出欠席 (5%) 授業態度 (5%) で評価する	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		HTML & CSS と Web デザインが 1 冊できちんと身につく本	

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	グラフィックデザインI	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	安藤 一生
時 間 数	前期： 時間 / 後期：26時間	実務経験：グラフィックデザイナーとして12年間現場で、商品開発や特許出願開発に携わり、既製品としての商品開発から、顧客のニーズをヒアリングして制作する職務経験を活かす。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	企業ロゴを制作し、名刺・封筒・チラシ制作の実習を通じて、グラフィックソフトに慣れ、郵便規約を学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	表面のデザインだけではなく、色数や数量によって変動する見積もりの味方や郵便規約に基づいたデザインを学び、企業実習で通用するレベルにもっていく		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		PCで調べ、IllustratorやPhotoshopを使用し、制作。 期日厳守で、課題提出日を区切り指導。	
到 達 目 標		就職試験に作品集の中に入れ、持参し説明できるレベルにする。	
成 績 評 価 方 法		制作物(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%) で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		ロゴデザインの現場 なるほどデザイン デザイナーのラフスケッチ	

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		1 年
科 目 名	合同制作 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期： 時間 / 後期：30 時間	実務経験： 岡山のメーカーで約7年間、インハウ スデザイナーとしてグラフィックデザインや商 品開発、ブランディングに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	後期前の時期に上級生とチームを編成して、これまで学習してきた内容をもとに、研究・ 成果物作成を行う。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	先輩たちとチームを編成して、実際のクライアントからヒアリングをおこない作品制作 に取り組む。初めての大規模チーム制作を通じて、コミュニケーションの力を養い、実 社会での作品制作に近い形で演習に望んでほしい。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		実際のクライアントからヒアリングをおこ ない、チームでの作品制作をおこなう。 制作後はクライアントへのプレゼンテー ションをおこなう。	
到 達 目 標		チームに所属して上長(先輩)の指示を聞いて動く経験や、クライアントを設定しての モノ作りなど、コミュニケーション力の向 上をはかる。	
成 績 評 価 方 法		成果物(90%)、出欠点(5%)、授業態度(5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			